

平成 28 年度高山工業高等学校 第 2 回学校活性化連絡協議会 議事要旨

|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日 時  | 平成 28 年 9 月 13 日 (火) 13:00～15:30                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 場 所  | 高山工業高校 会議室                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 出席者  | <p>(委員)</p> <p>籠場 和司 高山市立花里小学校校長<br/> 北村 齊 高山商工会議所会頭 (日進木工(株)代表取締役)<br/> 國島 芳明 高山市長<br/> 堰 美鶴 高山工業高等学校育友会会長<br/> 中野谷康司 高山市立日枝中学校校長<br/> 中村 健史 高山市教育委員会教育長<br/> 西田 純一 高山市企画管理部長</p> <p>(敬称略、委員名は 50 音順)</p> <p>(高校側)</p> <p>藤田 正昭 校長<br/> 堀 修 教頭<br/> 谷口 淳 事務長<br/> 岩島 義則 教務主任<br/> 上垣内 忠 生徒指導主事<br/> 門前 雅人 進路指導主事<br/> 室谷 伸治 工業部長・建築インテリア科主任<br/> 新家 邦男 電気科主任<br/> 川上 登 電子機械科主任<br/> 境 信之 事務局・機械科主任</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 議事概要 | <p>若年者ものづくり競技大会メカトロニクス職種にて銀賞受賞した生徒 2 名を紹介、生徒による競技説明と実演を実施した後、学校見学を実施した。</p> <p>1 高山工業高校の魅力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高山工業高校は飛騨地区唯一の工業に関する技術習得ができる専門高校であり、飛騨の匠の DNA を引き継ぐこの地域において、人材を育成していただける大事な学校である。今後も高山がものづくりで発展していくためにも、優秀な人材を輩出していきたい。行政でやるべき事を考えながら実際の行動に移していきたい。本日の皆様のお話を伺って、できることはやらせて頂きたい。</li> <li>工業高校は求人数も多く (求人倍率 9 倍程度)、就職率も高い (毎年 100%) ことが魅力である。高山は木工産業が盛んとはいえ、木工分野に限った求人ではない。工場では機械を電気で動かしており、自動制御の機械もある。その意味で、高山工業高校にある全ての学科の卒業生が地元企業に求められている。</li> <li>高山工業高校は育友会や学校後援会がしっかりとしている。特に学校後援会がこれほど多くの地元企業で成り立つ学校はない。そこを生かしていけるといい。</li> </ul> <p>2 地元教育機関や少子化する地域との連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中学生が高校生に直に質問をして考えを聞ける機会は進路のための参考としてとても有効な助けとなる。TV 会議システムなどを活用して、そうした機会を飛騨地区の中学校で設けることができるといい。</li> </ul> |

- ・ 工業に限らず高山市内にある小中学校は高校ともっと連携をしていきたい。高山や飛騨の人材育成を考える上で、保育園や幼稚園から小中高と一貫して育成することが理想である。人口減少社会において地元に残ってくれる人たちがいなければ、地域社会は成り立たない。工業高校が地元に残る人材育成をしていることをもっと多くの人に知ってもらい、つながりを重視するキャリア教育とすることが大切だと思う。
- ・ 毎年、花里小学校の児童と高山工業高校生との交流を依頼しているが、今年は子どもだけでなく保護者も参加をする予定である。工業高校のことを知らない人も多いので、こうした小さな交流を積み上げ、継続していくことが保護者等の理解につながる。

### 3 広報活動について

- ・ 卒業作品展のように、生徒がその成果を発表する機会は数多くあるほうがいい。その意味でサテライトキャンパスは良い取り組みである。市としても積極的に参画していく必要があると考えている。
- ・ 生徒たちが日常的に取り組んでいる内容、あるいは今日発表のあったデュアルシステムやサテライトキャンパスについても知られているようで知られていない。地域と連携して、もっと多くの人々の目に触れられるようにしたい。
- ・ 「高山工業高校の学校後援会のように地元の協力を得るにはどうしたらいいのか。」と他校から聞かれるくらい、地元やOBのつながりの強さは高山工業高校の大きな強みであるが、本校生徒の保護者を含め、知らない人も多い。学校後援会を市民に広く知ってもらうことができればと思う。
- ・ 市民の中には工業高校で何を学んでいるのか知らない人も多い。生徒の作品を市内のディスプレイコンテストに展示するなど、子供たちに興味関心をもってもらう機会を増やしたい。そして親にも知ってもらいたい。知ってもらったうえで工業高校を勧める人を増やせばいい。
- ・ 単独での活動や市の事業として、「こんなことができないか。」「こんなことに参画できないか。」という提案をしてもらえれば、市教育委員会としても対応する。市民に広く工業高校生の日常の活動を見せることは、長期的な視点で見れば間違いなく効果がある。
- ・ 他校の活動の中には、何十年と継続して取り組む中で市民に親しまれて定着した活動もある。そのように一過性でない継続的な活動の中で、工業高校生の日常の姿を市民に見せることが大切である。その中で小中学生が工業高校生にあこがれるような交流がもてればいいのではないかと。

### 4 県外からの生徒募集について

- ・ 第1回協議会で話し合ったことに関しては進展しているのか。例えば、県外から高山工業高校に生徒を集めるという特区構想は、可能性としてどうだろうか。
- ・ わが社も新採の24%は県外出身者である。木工芸術スクールも定員を超えており、高山工業高校の建築インテリア科も、昨年当初の希望者は定員の倍以上いた。特区構想も可能性としてありではないか。
- ・ 遠方から来る女子生徒に対応できる寮がないのであれば、市でホームステイ先や下宿を募集し、支援する仕組みは作れないだろうか。